

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	地域振興住宅整備事業	会計	一般会計	事業No.	547	施策順No.	72-009	
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-5-3-15-1			
政策	7 自立・連携した地域づくり			課等名	地域計画課			
施策	72 自立に向けた住民組織力の向上			事業期間	開始	20	終了	27

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	中山間地域計画に該当する民間借家が無い、または少ない地域						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		対象地区数(地区)	-	7	7	7	7	
	意図	地域における活性化や伝統・文化継承のための住宅を当該地区まちづくり委員会との協働事業として供給する。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	協働事業として供給された住宅(戸) / 供給予定総戸数(戸) %	-	10	26.6	43.3	43.3	60	A
	地区の計画に基づき入居した件数(件) / 供給戸数(戸) %	-	100	100	100	100	100	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	目標に対してその成果を数値で表すと上の表のようになり、十分達成したといえる。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	この事業は、まちづくり委員会との協働事業として、中山間地域における民間借家が無い、または少ない地域へ住宅を供給することにより、地域におけるコミュニティの活性化や伝統・文化を継承し地域を維持することを目的とする。 各中山間地域の事情に応じた住宅の供給を目指すために、該当する各地域の活性化計画に基づき、公的空家の活用及び住宅建設や改修を行う。 また、それぞれの地域における入居者の選定及び用地の確保についてはまちづくり委員会が行う。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 中山間地域へ当該地区まちづくり委員会との協議に基づき新築住宅の供給を行う。 2 中山間地域のまちづくり委員会との協議に基づき既存住宅の改修による供給を行う。 3 24年度の供給に向けた中山間地域のまちづくり委員会との協議。	1 供給戸数 2 供給戸数 3 協議回数	1 5戸 2 2戸 3 16回
23年度実施計画	1 中山間地域へ当該地区まちづくり委員会との協議に基づき新築住宅の供給を行う。 2 中山間地域のまちづくり委員会との協議に基づき既存住宅の改修による供給を行う。 3 24年度の供給に向けた中山間地域のまちづくり委員会との協議。	1 供給戸数 2 供給戸数	1 6戸 2 2戸

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (地)合併特例(充当率95%) 21→22繰越明許費 58,000千円 22→23繰越明許費 62,979千円
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債		132,000	69,600	91,200	
	その他					
	一般財源		7,000	4,153	4,800	
	計(A)		139,000	73,753	96,000	
	正規職員所要時間			626		
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)			2,239		
	トータルコスト A+B			75,992		

4 事業に対する市民や議会の意見

議会や地区懇談会において、中山間地域の若者の流出が止まらず、早急な対策を取ってほしいという意見が多数ある。 該当7地区のまちづくり委員会連名で、事業の継続と複数棟の建設を望む要望書が提出されている。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	住民組織が、地域で考え地域で活動し役割を果せる組織となる	施策の成果指標又はムトス指標	地域活動に参加している住民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	地域振興住宅の入居条件として地域振興に寄与するものとした。		
	後期に向けた課題	引き続き地域新興住宅の入居条件として地域振興に寄与するものとする。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	まちづくり委員会と協働していくことにより中山間地域の活性化を行ってきた。		
	後期に向けた課題	引き続きまちづくり委員会と協働していくことにより、中山間地域の活性化を行う。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	プロポーザル方式により、事業費を1件当たり1500万円に抑えることでコスト削減を行っている。また、企業のアイデアを取り入れることにより、グレードアップを図っている。		
	後期に向けた課題	引き続きプロポーザル方式を採用することで、整備内容の充実と経費削減を行っていく。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	当該地域のまちづくり委員会は市との協働により入居者や土地の選定を行うなど適切な役割を担っている。		
	後期に向けた課題	引き続き当該地域のまちづくり委員会と協働により事業を進めていく。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①まちづくり委員会と地域の実情に応じたそれぞれの活性化計画に基づき住宅への入居者及び建設場所を選定し建設後の管理を行う。②市は住宅の建設と家賃の徴収を行った。		
	後期に向けた課題	引き続きまちづくり委員会との役割を認識し事業を進める。		
全体を通じて	4年間の振り返り	まちづくり委員会と協働により事業を進めることが出来た。		
	後期に向けた課題	引き続きまちづくり委員会と協働により事業を進める。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------